

シンポジウム「パラスポーツで、つなごう、つながろう、楽しもう」

昨年、東京パラリンピックが開催され、多くの注目を集めました。本来であれば、この大会を契機に障がい者スポーツ（以下、パラスポーツ）が大きく発展することが期待されましたが、コロナ禍で思うように活動が展開できない日々が続いています。しかし、そんな中だからこそ、東京パラリンピックのレガシーを着実に引き継ぐと、新潟県障害者スポーツ協会とスペシャルオリンピックス日本・新潟の共催で、シンポジウムを開催することにいたしました。

このシンポジウムは、県内のパラスポーツ関係者・団体が広くつながり、協力してパラスポーツへの理解啓発と一層の普及推進を図ることを目的としています。企画立案は、スペシャルオリンピックス日本・新潟の普及・体験推進委員のほか、新潟県障害者スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブの関係者で構成した実行委員会が担当し、これまで積極的にパラスポーツに取り組んできた県内の当事者や支援者に登壇していただきます。

パラスポーツの世界には、たくさんの仲間がいて、障がいの有無に関係なく、共にスポーツを楽しむ取り組みが広がってきていることを多くの方に知っていただき、これからの個人や社会のパラスポーツへの関わり方を、一緒に考え、取り組むきっかけにしたいと考えています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

登壇者プロフィール

永田 務さん

東京パラリンピック銅メダリスト
株式会社アールシーコア・BESS 所属
2020東京パラリンピックT46（上肢障害）
マラソン銅メダリスト、村上市出身の38歳。26歳のとき、工場での勤務中の事故で右腕に障害を負う。その後も100キロを走る「ウルトラマラソン」で世界選手権に出場するなど、一般の陸上選手として活躍を続け、東京パラリンピックに初出場、メダル獲得。

関口 芳平さん

総合型地域スポーツクラブ
NPO 法人ネージュスポーツクラブ事務局長
十日町市生まれ。十日町アクティブスポーツクラブ車いすバスケットボールチーム「十日町Unity」統括マネージャー。障害や年齢によらずに誰もが楽しめるスポーツ活動を展開中。県障害者スポーツ協会理事、県ボッチャサポートプロジェクトメンバー、NPO 法人日本障害者スキー連盟 ID ノルディックチーム支援コーチ。

中川 久美さん

新潟県立江南高等特別支援学校 教諭

日本パラスポーツ協会公認上級障害者スポーツ指導員としてパラアスリートの指導に携わり、全国障害者スポーツ大会の新潟県・新潟市選手団の監督を歴任。陸上競技とバレーボール（知的障害）のクラブチームを自ら立ち上げて15年以上主宰し、本年度バレーボールでは北信越・東海ブロック予選を勝ち抜き、見事全国大会に出場。

唐津 克章さん 唐津 裕子さん

スペシャルオリンピックス日本・新潟
アスリート ファミリー

2006年からS0のアスリート、ファミリーとして活動を始める。克章さんは、ボウリング、スノーシューイング、ダンスのアスリートとして各大会に出場。2016年の冬季全国大会ではスノーシューイングで金メダルを獲得。裕子さんは、2010年からボウリングプログラム代表、現在は、SON・新潟理事、ボランティア委員長も務める。

コーディネーター 丸田 徹さん

新潟県障害者スポーツ協会副会長 スペシャルオリンピックス日本・新潟副理事長

【申込方法】表面のQRコードから申込サイトにアクセスしてください。スペシャルオリンピックス日本・新潟のホームページ <https://son-niigata.com/> からアクセスできます。

申込〆切 2022年8月20日 ※会場、オンラインともに定員に達し次第、受付終了となります。